

—“ふるさとちば”のための政策推進を◆



# 田舎 # しょういち うすい正一県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

# 新型コロナで運営厳しく イベント、相次ぐ中止や延期

**臼井議員** 幕張メッセは年間約700万人の来場者が訪れるなど、幕張新都心の中核施設としての役割を果たしており、本県経済を支える重要な拠点の一つだ。他方、新型コロナウイルスの感染拡大により、東京

オリンピック・パラリンピクが延期になつたほか、緊急事態宣言を受け5月末まで施設を閉鎖するとともに解除後も利用人数の制限が残るなど、幕張メッセの支の悪化が懸念されているそこで、新型コロナウ

ルスに関連してうかがう  
新型コロナウイルスの影響  
による令和元年度及び2年  
度の幕張メッセの運営状況  
はどうか。

このため県では、平成22年度から15年間に及ぶ大規模改修に着手したところであり、老朽化への対応とともに、バリアフリーへの対応など利用者のニーズに合せた機能強化を図り、施設の利便性向上に努めています。

## 9月定例県議会一般質問

県都、千葉市の発展に力を尽くしている臼井正一県議（千葉市美浜区選出、5期）は9月定例県議会で一般質問に臨み、新型コロナウイルス感染症の流行で悪化が懸念されている幕張メッセの運営や地方創生、千葉県社会福祉センター建て替え、私学助成などについて森田知事ら県執行部に施策や方針を聞きました。また、県庁舎の電話回線の契約について、料金の安さやサービスを競っている事業者を対象にした入札の導入を提言しました。臼井県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。



9月定例県議会で登壇し、一般質問を行う臼井正一県議

# 幕張メッシュの利用、大幅減

**機能強化で魅力向上**

白井議員  
東京

ところです

今後は、地元の千葉市などとも連携し、東京オリンピックとしての知名度を生じた営業活動に努め、新たな誘致分野を開拓するなど、施設の利用拡大に向かって取り組んでまいります。

**要望** 東京オリンピック・パラリンピックの終了に、ますます激化することが想定される類似施設と競合を勝ち抜くためには、幕張メッセそのものの魅力を高めるとともに、一層の利用拡大に努める必要があるものと考える。

そこでうかがう。東京オリンピック・パラリンピックの幕張メッセの利用拡大に向けてどのように取り組むのか。

**商工労働部長 首都圏で類似施設の新設・拡張進んでおり、誘致競争が化すると予想されること**

となつたイベントがあつたものの、年間を通しては音楽系イベントの増加などにより利用状況が好調だったことから、国際展示場の延利延期が相次いだことなどから、8月末時点での利用率が前年度比91.6%へと減少となるなど、大変厳しい運営状況となつています

用ホール数は2636ホル  
ルと過去最高となりました

# うすい正一 県議 PROFILE

# PROFILE

——經歷——

- 昭和50年1月 千葉市検見川町生まれ
  - 平成9年3月 日本大学文理学部卒業  
英オツクスフォード  
アカデミー修了
  - 平成14年10月 衆議院議員秘書
  - 平成15年4月 県議会議員初当選  
(5期連続当選)

現職

- ・県議会 商工労働常任委員会委員
  - ・自民党県連 広報本部長

県政や千葉市美浜区のご相談、ご意見を聞かせてください

# うすい正一 事務所

〒261-0004 千葉市美浜区高洲1-9-7-2  
**TEL 043-244-0033**  
**FAX 043-244-2200**

今までの取り組みや過去の県政リポートはHPからご確認いただけます。URL= <http://www.shoichi.info/report.php>

# 欠かせぬ若者の定住促進

## 千葉県の地方創生へ 人口減少に歯止めを



県の施策について森田知事ら県執行部に質問する臼井県議

臼井議員 このたび県が取りまとめた「第2期千葉県地方創生総合戦略」原案によると、本県の総人口は間もなく減少に転じることが見込まれている。

具体的には、本県の総人口は、2020年8月1日現在、約628万4千人だが、このまま人口が推移すると、2060年には527万5千人と、わずか40年間で約100万人が減少する試算されている。

知事 次世代を担う若者には、特に地域に対する関心も高く、次世代を担う若者

心や地域を支える熱意を持ついただき、高校・大学等の卒業後も引き続き県内に就職し、生活していくことが重要であると考える。

人口減少が目前に迫る中、若者の東京流出を抑えるとともに、定住を促進するため、出産や子育ての希望の実現に取り組むことが重要であると考える。

そこでうかがう。若者の東京流出に歯止めをかけるため、どのように取り組んでいくのか。

臼井議員 国の就学支援金の制度拡充に伴い、県の授業料減免制度も拡充されてきたが、その支給対象となるのは、県内にある私立高校へ通う生徒となつてから、千葉県から近鄰都県の私立高校へ通う生徒たちは、県の授業料減免制度は受けられないことに

そのため、千葉から東京へ通う生徒は、千葉県、東京都、どちらの制度も対象外となる制度の違いをどうやってこの制度の違ひをどうやって埋めていくのか、考えていく

## 都内通学の私学生徒 補助受けられぬクリスマスも

要件としております。

林水産業を推進するとともに、本県の優位性を生かした企業誘致などに積極的に取り組み、魅力ある雇用の

場を創出しております。

子育ての希望がかなえられるよう、どのように取り組んでいくのか。

しかしながら、保護者負担の軽減については、在住地・在学地に関係なく、全国一律で支給される制度が望ましいことから、県ではこれまで国に対し、就学支援金制度の拡充を要望してきたところです。

## 活力ある県づくり要望

**要望**

臼井議員 少子高齢化と人口減少は、一朝一夕に解決できるものではない。子や孫の世代にわたる千葉県の将来像を展望し、市町村や関係機関、民間企業等と連携・協力を図りながら、本県の地方創生を実現していくため、実効性のある取組を進めていただきたいと思う。

次世代を担う若者が、地域の文化や産業に誇りと愛着を持ち、千葉県を支える社会の一員として生き生きと活躍できるよう、希望に満ちた活力ある県づくりを強く要望する。

## ベッドタウンから脱却

先日、大手人材派遣会社が本社機能を淡路島に移すとの報道を見た。このコロナ禍で、加速度的に働き方改革、リモートワークが推進され、若い方々の人生観にも大きな影響を与えている。

寝に帰るまち「千葉」から、住んで、結婚して、子育てして、快適に働けるまち「千葉」を実現させるには、まさに、災い転じて福となす、今こそ無二の好機と捉え、全庁あげての取り組みをお願いする。そのトップには、最後まで森田知事が立つてくださいますようお願いする。

このため、今回の原案では、若者等への職業訓練や相談から就職までの一貫した支援などにより、正規雇用としての就労・定着を促進するとともに、子育てに係る経済的負担の軽減を図っていくこととしています。

また、妊娠に関する相談体制の充実や周産期医療体制の整備、保育人材の確保など妊娠・出産から子育てまでの切れ目ない支援を行なうとともに、働き方改革の推進などに取り組み、子育てしやすい社会を実現してまいります。

このため、第2期千葉県地方創生総合戦略の原案では、地域の歴史や文化などを学習とともに、魅力的な地元企業での職場体験などを通じ、地域を愛する人材を育成していくこととしている。また、健康・医療分野の成長分野に係る産業の育成や、ICT・地域資源等



### 議場の自席で県の施策へ要望

# 千葉みなと港湾緑地



## 市民の憩いの場とな 千葉みなと港湾緑地

白井議員 この夏、県内の海水浴場は開設されなかつたが、水辺は涼を求める多くの人々であふれ、密にならずに、海と親しめる場所の必要性を強く感じた。このような中、千葉市は、稲毛の浜や、背後の稲毛海浜公園を中心にして水辺を活用した地域振興に取り組み始めた。県が整備を進める千葉みなと港湾緑地においても、レストランや旅客船ターミナルなど、港と一体となつた集客施設を整備して

おり、市の新たな観光拠点として非常に期待し、また一日も早い完成を望んでいます。そこでうかがうが、千葉みなと港湾緑地の完成目込みはどうか。

駅前からポートタワーまで  
の一体となつた親水空間が  
形成され、多くの人々に、  
海とのふれ合いの場や憩い  
の場を提供するとともに、  
千葉港の更なる活性化に  
寄与できるものと考えてい  
ます。

要望

臼井議員 千葉み  
など港湾緑地は着実  
に事業が進んでいるようだ。  
横浜に負けない、一味違つ  
た港のある風景を作つてい  
ただけるよう、千葉市と協  
同してよろしくお願ひする。

私の事務所にも、様々な事業者から、電話回線を乗り換えると料金が安くなるといった案内が度々ある。そのうちの一つと契約に至つたが、実際に電話料金をだいぶ削減できたと実感して

か。本庁舎や中庁舎などの固定電話の回線は約3000回線あると聞いている。入札を実施すれば、かなりの経費節減効果が見込めるのではないかと思う。もちろん、単に電話料金が安いということだけでなく、災害などの緊急時における

については、入札にすべきと思  
うがどうか。

総務部長 県庁舎における  
固定電話の回線契約において、経費節減を考慮する  
ことも重要ですが、常に安定した通信サービスが提供  
できることを重視し、緊急時の迅速な回線確保など、  
豊富な実績を有するNTT

**白井議員** 我が国の電気通信事業については、通信自由化による競争原理の導入から久しく、現在、多くの事業者が通信市場に参入し、料金の安さやサービスを競ってい。

利用者側が、様々な事業者の中から選択できる現下の状況において、県庁でも、価格やサービスの面でより良い事業者を選択できれば、経費の節減や利便性の向上につながるのではないか、どうも

必要な通信サービスの確保が大前提ではあるが、同時に限られた財源を有効に活用するという視点も、大変重要なものと考える。

東日本との契約を継続してまいりました。

**県庁舎の固定電話回線  
入札導入で経費節減期待**

も参考に、経費節減の効果や通信事業者の提供するサービス、本唱における電話回線の利用状況等を踏まえ最適な契約方法を検討してまいります。

**要**　臼井議員 固定電話回線の入札に関してだが、これを阻む要因は極めて少ないようを感じる。確かに受けられるサービスは事業者により異なること

は理解できる。  
しかし、平成26年度から  
入札を導入した神奈川県で  
は、神奈川県の発行した「新  
たな行政改革の指針」点検  
報告書によれば、固定電話

回線、携帯電話回線の一括契約による経費の効果として、年間一億円の削減が行えたとのことだった。

総務部は、県庁各部局に対し、入札による調達を推進させる立場にあると思う。電話の契約については来年度の契約からでも入札を導入できるように早急に検討を進めていただきたい。

